



特 別 展 覧 会

聖徳大学附属幼稚園創立40周年記念 「教育学の先駆者・ペスタロッチ」展

ごあいさつ

本学は昭和8(1933)年、東京市大森区(現大田区)新井宿に聖徳家政学院と新井宿幼稚園を創立したことに始まります。その後、昭和40(1965)年には千葉県松戸市に聖徳学園短期大学(現聖徳大学短期大学部)を、平成2(1990)年は聖徳大学、平成10(1998)年は聖徳大学大学院をそれぞれ開設いたしました。現在では附属幼稚園7園、小学校1校、中学校・高等学校各2校を有し、幼稚園から大学院までの一貫した教育環境を整えております。

なかでも大学キャンパス内にある附属幼稚園は、本年が40周年になります。これを機に、本学が世界各地から収集し、保管している幼児教育・女性教育に関する資料の中から、教育学の先駆者であるヨハン・ハインリッヒ・ペスタロッチに関する初版本や自筆原稿などを初めて公開いたします。

ペスタロッチは、本年が生誕260年になりますが、19世紀初期における最も著名な教育者であり、彼が生み出した教育理論は世界中で取り入れられ、実践されてきました。本年学部の新設しました生涯教育文化学科は、その教育目標の一つに、地域社会の教育文化に貢献する人材の育成や「まちおこし」にあります。こうした地域における教育活動の重要性を初めて説いたのがペスタロッチでした。また、独自の保育施設を構想した人物でもあります。

この機会に教育関係者や学生のみならず、地域社会の皆様にも、教育の原点を理解する上で欠かすことのできないペスタロッチの資料をご覧ください、教育とは何か、その基本を見極める場となることを願っています。

平成18年4月17日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並弘昭



ペスタロッチ肖像画
(1746~1827)

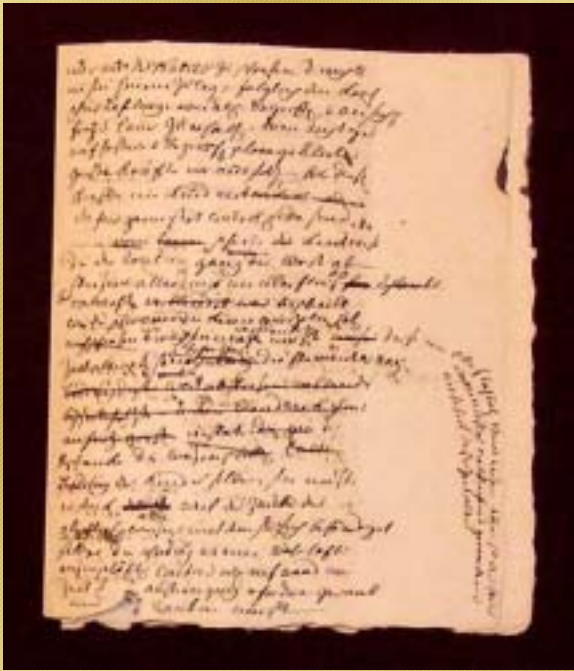


「隠者の夕暮」1780年 初版

主催 聖徳大学



主な展示物



ルネサンス期の書簡断片



ペスタロッチの最初の全集（1819年）初版



ヨーロッパの教育玩具



日本の教育玩具

会 期：平成18年4月17日（月）～平成18年9月30日（土）
午前9時～午後5時（休館：毎週水曜、祝日と学事日程による休館日）
会 場：聖徳大学（〒251-8585 東京都大田区）
行 方：新京成線「大田区役所」駅下車、徒歩5分
お問い合わせ：聖徳大学国際交流課
TEL：047-455-1111（大田区）

